勤労者退職金共済機構の建設業退職金共済事業本部（建退共、黒田正輝本部長）は20日、東京・千代田区の経団連会館で第11回評議委員会・運営委員会を開き、中小事業主関係者の加入促進目標を達成できなかった。新規加入者の増加に向け効果的な施策を講じていく」と述べた。黒田本部長は公共工事の急激な減少など、共済制度を取り巻く環境の厳しさに触れた後、「契約者に信頼され、

諫早市　壱岐市
「真人」「なかはら」が事例発表

7月26・27日　東京で

建設トップランナーフォーラムと日本青年会議所（JC）建設部会は、「選ばれる会社を目指して」をテーマに「第2回建設トップランナーフォーラム」を7月26日、27日の両日、東京・港区のキャンパスイノベーションセンターで開く。国土交通省や地方建設記者の会などの後援で開かれる同フォーラムは、新分野に挑む建設人が全国から集い事例発表する場となる。2回目となる今回は、企業型農業、森林バイオマス、自然エネルギー、環境共生、高齢者支援など、全国の22事例を5分科会に分けワークショップ形式で発表する。

第2回　建設トップランナーフォーラム

7月26日は開会式と交流会、27日は分科会ワークショップ、パネルディスカッションなどが行われる。27日の分科会ワークショップでは、管野組（北海道）の「ジュンサイ・光触媒によるトマト栽培」、阿部総業（岩手県）の「木質ペレットの製造」、小柳建設（新潟県）の「水環境事業で地域貢献」など多彩な事例が発表される。

本県からは、環境ビジネス分科会・森林再生分科会で諫早市の㈱真人が「廃石膏ボード再利用」、地域づくり分科会・新発想ビジネス分科会では壱岐市の㈱なかはらが「『壱岐の塩』の製造販売、風力発電」を事例発表。

特別講演では、愛媛銀行の福富治法人推進グループシニアマネージャー、JTBの清水慎一常務、日本林業経営者協会の速水亨会長の3人が、これからの建設業を考える上で示唆に富んだ講演を行う。

また、同フォーラム内で同時開催する「パンフレットセッション」は、建設業の新分野進出や経営多角化を探る場を提供。フォーラムに参加する企業であれば誰でも出展できる。出展費用は無料。ただ、フォーラム、パンフレットセッションに参加を希望する場合は、建設トップランナーフォーラム事務局に事前の連絡が必要となる。

同フォーラムを日本青年会議所建設部会と共に主催する活動団体「建設トップランナーフォーラム」の顧問を務める米田雅子氏は、「建設業の方々が、厳しい状況でも前向きに頑張っている姿を全国に発信したい」とコメントしている。

▽参加費―7月26日が2000円、27日が3000円

▽内容―5分科会ワークショップ（22事例発表）、特別講演、パンフレットセッション（http://www.kentop.org）

▽問い合わせ先―建設トップランナーフォーラム事務局（NPO法人建築技術支援協会）

TEL 03・5689・2911
FAX 03・5689・2912
Eメールアドレス：info@kntop.org

錢信託の利回りが大幅に落ち込んだためで、当期損益金も58億9500万円と前年度と比べ81・3％減少した。

大手関係特別給付の収益は、前年度比44・4％減の23億8000万円。運

8月から住宅金融講習会開催
全宅連

全国宅地建物取引業協会連合会（全宅連、藤田和夫会長）は、2007年8

全国17会場で、宅建業者を対象に住宅金融講習会を開く。内容は「住宅ローンに係る基礎的な知識」「住宅ローン仲介の役割と今後の展望」など。

この講習会は国庫補助対象事業のため、都道府

く一般でも受講できる。受講料は無料。

講習会の日程、会場、定員などの問い合わせと受講申し込みは全宅連事務局（TEL 03・5821・8181／FAX 03・5821・8180）まで。